

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

平成28年9月22日

越前市議会

議長 城戸 茂夫 殿

議員氏名 吉田 啓三



下記のとおり報告します。

日 程 平成28年9月20日(火曜日)

活動先 越前市内

活動目的 市内での問題点の把握と現状を視察

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

1、うすずみ会館

地元へ移管することが進んでおり、現在の区長も難しい状況を訴えていました。現在越前市内では多くの指定管理があり、中には地元の人しか使われていない施設がおおくあります。今回の「うすずみ会館」を機に市内全域の見直しを進めなければならないと感じました。

2、服部川と水間川の合流地点

今立地区は大雨による川の氾濫が近年発生しています。現場を見るとその状況がよくわかりました。河川改修を含め早めの対策が必要だと感じました。

3、南越清掃組合焼却炉建設予定地

南越前町での建設となりますが、他町であるといえ同じ南越清掃組合としてこのような施設においては、住民への十分な説明と話し合いが必要であり、住民にとって必要な施設であることを理解していただくことを感じました。

4、吉野瀬川放水路

現在、河川改修が行われており、工事の進捗状況がよくわかりました。この先も続くみたいですが、その状況説明が住民には十分には説明されていないように感じました。

4、全体を通しての所感

我々は机上での予算や決算で状況を把握しようとし、どのような工事が行なわれているのかは知りませんでした。

実際に現場を見て話を聞くことにより、お金の使われ方や問題点がより鮮明にわかってくると感じました。

このような状況は越前市内ではまだまだたくさんあります。

現地現物現認で把握することは大変重要なことだと感じましたので、これからも少しでも多く現場を回り政策に反映していきたいと思います。

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

28年 11月 25日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 吉田 啓三 印



下記のとおり報告します。

日 程 28年 10月 3日(月曜日)～ 10月 5日(水曜日)

活動先 岩手国体視察

活動目的 他県の国体を視察し本県の国体開催に活かす

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

平成30年福井しあわせ国体での越前市で行われる競技であるソフトボールとフェンシングを視察し、会場の運営や市民のボランティアによるおもてなし等を学んだ

詳細は別紙

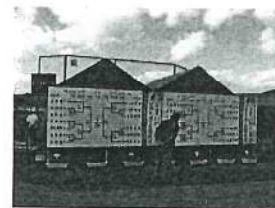
いわて国体視察(10月4日)ソフトボール競技



・ウェルカムアーチ
表は「いわて国体」への歓迎アーチとなっており裏は次の国体場所である「えひめ国体」へつなぐ意味もこめて表示してある。



・駐車場
車を停める台数が限られているため周辺の駐車場を借りて送迎バスにて会場へピストン輸送をしている。ただ会場周辺は駐車禁止区域じゃないために多くの車が路上駐車していた。



・会場
ほとんどが仮設テントで対応しており、ちょうど台風がきており大変風が強い日であり、仮設テントが倒れかかったり、ソフトボールのホームランゾーンの壁が倒れたりしていた。

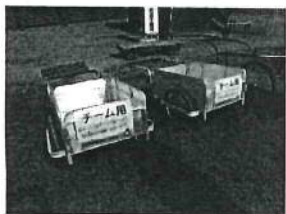
・喫煙所
喫煙所は会場の4か所に設けられている。また障害者用の観戦エリアもあり分かりやすく表示されていた。



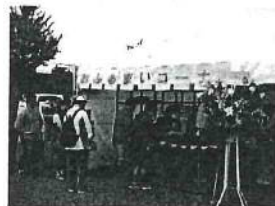
・大会グッズ
岩手のマスコットキャラクターなどのキーホルダーやタオルなどが販売されていた。料金も安く設定されていてたくさんの人が買い物をしていた。キャラクターだけではなく、アシックスミズノなどのメーカーも販売していた。



・応援グッズ
選手への応援用に無料でグッズが置いてある。ペットボトルに小石等を入れて音が鳴るようになっている。使用後は元の位置に返却しなければならない。



・搬送リアカー
各チームごとに選手の荷物などを運ぶ為に貸し出されている。選手の弁当なども配布されるため、そういった時も大変便利である。表示看板も各ブースにわかりやすく見えやすく設置している。



・協賛
たくさんの企業が協賛しており、入り口には大きなボードで社名が書かれていた。越前市でも多くの企業に協賛していただきたい。

・おもてなし
地域の人たちが無料でジュースを配布していたり昼の時間になると豚汁などを無料で振る舞っていた。



・主催者側への聞き取り

1. ボランティアの方が多いましたがどのように募集しましたか？
ボランティアは1年前より募集したがまったく集まらなかった。1か月ほど前になってようやく集まりだした状況です。
2. 選手の宿泊はどのように対応しましたか？
民間のホテル等では対応できないために、周辺には多くの温泉施設があり、そこに協力をいただいて対応しました。

・所感

今回のソフトボール競技場は、試合場練習場を含めて8面のスペースがあり、その他のスペースも含めると大変広い土地である。越前市の東運動公園で考えると半分以下のスペースである。周辺の万葉中学校や仁愛大学などの協力は必須であると感じた。送迎も含めての準備を早めに考えなければならぬと痛感した。

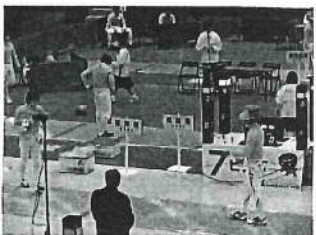
いわて国体視察(10月5日)フェシング競技



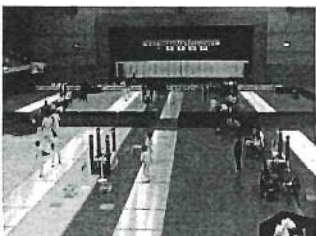
①ウェルカムアーチには震災の復興を掲げ、市民全員で取り組んでいる状況がみえた。
この敷地内は運動公園になっており広大な敷地に体育館やサッカー場などの施設が密集している。
中心市街地からは少し離れているがのどかな環境だった。



②体育館1階がメインアリーナで競技をおこない、隣のサブアリーナが練習場や選手の荷物置き場となっている。
2階に観覧席とエントランスがあり、エントランスで対戦組み合わせ表が掲示してある。
対戦ルールや種目を理解していないために、個人的には見にくく理解しづらかった。



③初めて競技を観戦したこともあり、フェンシングという競技の雰囲気は理解できた。ただ一瞬で決まる競技であるため盛り上がりには欠けていると感じた。



④会場の駐車場は広く十分なスペースがあるように感じた。ただ周りに飲食店などがなく、おもてなしコーナーにあるおにぎりなどのフードコーナーを設ける必要がある。

⑤地域の皆さんのボランティアが多く、街全体で盛り上げている様子がうかがえた。どれだけ地域の人たちに協力していただけるかがカギとなる。

⑥観客をどのように集めるかがポイントとなる。準決勝、決勝になるとその県の応援団のみがいるため盛り上がりには欠けるように感じた。町内で各県の応援場所を決めたりする必要があると感じた。

⑦主催者ユニフォームの色が何種類もあり、ボランティアとアルバイトを色で区別していると聞いた。

①会場入りロマット



②駅内案内所



③一ノ関駅のぼり



④新花巻駅のぼり



①いわてのマスコットキャラクターをモチーフに専用マットを制作している越前市でいうと「きくりん」
②JR、新幹線の駅内には国体案内所を設けており、職員が対応している
③のぼりは駅の正面や道路沿いにもたくさん立てられている。競技ごとなど色々な種類ののぼりがある
④近隣の駅には前方に送迎バスの停留所を設けて職員が対応している。バスのルートは各競技場を回るルートとなっている

所感

フェンシング競技は現在建築中の新体育館での競技となりますが、スペース的には問題はないように感じた。おもてなしブースは隣がソフトテニス会場になっているため共同で駐車場のスペースを使って行った方がいいように感じた。

この会場にもボランティアの方がたくさんいたが、中にはアルバイトの方もいた。担当する作業内容により、ボランティアとアルバイトを使い分けていると話があった。こういった線引きはお金がかかわることであるため慎重に協議をしなければならぬ。中高生は学校を休みにしてボランティアで大学生はアルバイト募集の中から応募しているように感じた。

越前市では4つの競技が行われるが、職員の割り当てや宿泊場所の確保など問題が多く残っている。市民の皆さんの協力がなければ成功しない大会である。早い段階で市民の士気を高め全体を盛り上げていかなければならないと感じた。

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

29年 3月 / 日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 吉田 啓三 印



下記のとおり報告します。

日 程 29年 2月 2日（木曜日）～ 月 日（曜日）

活動先 吉田けいぞうレポートNo6

活動目的 越前市の取り組みや今後の政策を市民に伝える

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 （不足のときは、補助用紙を用いる。）

印刷業者 三好印刷

支払金額 238,140円

配布先 市内各所

配布部数 7,000枚

別添のとおり



吉田けいぞう

KEIZO REPORT

No. 6

越前市

まちづくりトピックス ～直近の主な市政情報～

越前市議会
市民ネットワーク

1) 第3期計画における主要な事業

■ 主要事業① 新庁舎建設事業(交流施設)

実施時期:平成26～32年度

○本庁舎は、シンボル性やアクセス性に配慮し「四方正面」の考え方により建設を計画しています。また、あらゆる災害に対応する防災拠点機能に加え、市民利用機能としての交流施設や広場を併設し、市民が利用しやすく多くの人が賑わう「オールインワン型庁舎」として計画しています。



■ 主要事業② 武生中央公園再整備事業

実施時期:平成26～30年度

○平成26年3月に策定した「市のセントラルパークとして、老若男女が、憩う・遊ぶ・見る・学ぶ・楽しむことのできる空間の形成」を整備方針とする再整備基本計画に基づき、平成30年の完成を目指し整備を進めます。

○平成30年開催の福井国体のフェンシング競技とソフトテニス競技の会場となっていることから、老朽化した体育館の建替えとテニスコートの改修を行うとともに、公園全体の再整備を行います。



■ 主要事業③ 北府駅鉄道ミュージアム整備事業

実施時期:平成32～33年度

○北府駅構内には、福井鉄道の歴史に触れることのできるギャラリーがあり、また駅前には電車がモチーフの案内板等が設置されるなど、駅全体が親しみのもてる博物館となっています。今後は、これらに加えて、貴重な鉄道文化財である、福井鉄道の200形車両を北府駅周辺に保存展示するなどの整備を行い、北府駅一帯を鉄道ミュージアムとして整備します。



■ 主要事業④ 工芸の里構想推進事業

実施時期:平成29～31年度

○越前和紙、越前打刀物、越前単筒の3つの伝統的工芸品が集積する越前市において、本市の特性を活かし伝統工芸の振興策について新たな方向性を示すとともに、3産地の連携による交流人口の拡大を図ります。中心市街地では伝統工芸の産地としての魅力向上のために、クラフトツーリズム事業やクラフトマーケット事業等を展開します。



■ 主要事業⑤ 商店街活性化プランに基づく一連の事業

実施時期:平成28～33年度

○平成28年2月に、まちなかの商店街がまちづくり武生(株)との連携により、商店街活性化プランを策定しました。

○商店街活性化プランに基づき、民間事業者が主体となった活性化事業を展開します。



2) 越前市公共施設等総合管理計画

1 公共施設等総合管理計画とは？

人口減少及び少子高齢社会による公共施設への住民ニーズの変化、公共施設等の老朽化による維持改修更新費用の増大が予想されることから、今後の公共施設等の管理について基本的な方針をまとめたものです。

[計画の位置づけ]

- 上位計画のインフラ長寿命化基本計画[国]を踏まえて策定しました。
- 本計画は平成29年度以降に策定又は改訂する個別施設計画の上位計画になります。

[計画の対象範囲]

学校、公営住宅、集会施設、道路、上下水道等、本市が所有する全ての公共施設等を対象とします。

[計画期間]

2017年度～2056年度までの40年間

[越前市基礎情報]

人口:8.3万人

建築系公共施設延床面積:35.5万㎡

2 公共施設等を取り巻く課題

①人口減少及び少子高齢化の進行

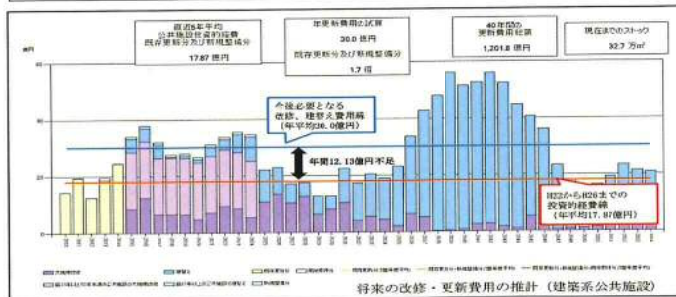
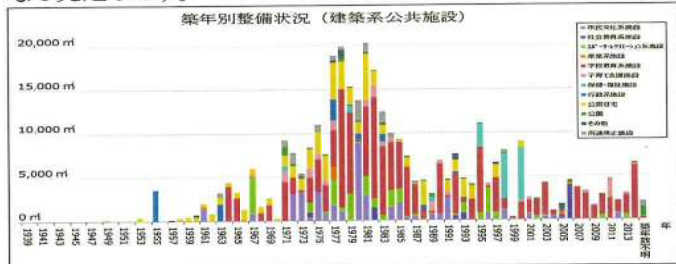
「越前市人口ビジョン」においては、人口が最大であった2005年から2056年にかけて、約3割程度人口が減少する見通しとなっています。

	2005年	2016年	2056年
市人口(推計値)	8.8万人	8.3万人	6.3万人
市人口減少割合	-	-0.6割	-3割
延床面積	35.4万㎡	35.5万㎡	-

人口構成割合では、年少人口及び生産年齢人口の割合が減少する見込みであり、住民ニーズの変化が予想され、子育て支援施設や学校教育系施設等の余剰が発生する可能性があります。

②公共施設等の維持補修、改修、更新費用の増大

越前市の公共施設の築年は1970年代から1980年代に集中しており、既に老朽化が進んでいるため、今後維持補修費、改修、更新費用が増大する見込みです。また、現状の施設保有量のまま改修、更新を行った場合は、今後40年間で1201.8億円(年平均30.0億円)必要になり、直近5年間の年平均投資的経費17.8億円の、約1.7倍の費用が必要になる見通しです。



ここがポイント

今後は施設保有量を削減する事で、維持費の増大を防ぐ

3 課題を踏まえた公共施設等に関する全体管理基本方針

●建築系施設

(1) 施設保有量適正化

人口減少により公共施設の需要が一定割合低下すること、現状の施設保有量では今後の改修、更新を適切に実行できず、安全性の確保に課題があること等を総合的に勘案し、施設保有面積を今後40年間で3割削減します。

(2) 機能面の重視

住民ニーズの把握に努め、真に必要な機能については、同一施設に集約・複合化していくことで維持していきます。

(3) 予防保全型施設管理

従来の事後保全型から予防保全型に移行し、劣化の拡大を予防することで維持補修費用の縮減を図り、施設の長寿命化を推進します。

(4) 財源の確保

廃止した施設、跡地については売却又は有効活用を進めます。民間活力の導入等、効率的な施設運営を検討し、コスト縮減と施設収入増を図ります。

●都市基盤、企業会計公共施設

(1) コンパクトシティの推進

既存の都市基盤を中心にコンパクトシティ化していくことで、インフラの拡大を抑制し、コスト縮減を図ります。

(2) 予防保全型施設管理

従来の事後保全型から予防保全型に移行し、劣化の拡大を予防することで維持補修費用の縮減を図り、施設の長寿命化を推進します。



ここがポイント

耐久年度の見直しや改修工事期間の平準化が必要です

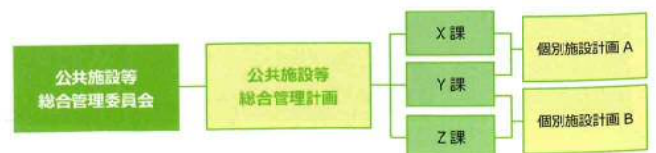
4 計画の推進体制

新たな組織体制の構築

本計画の推進にあたっては、施設総体を把握し、一元的に管理する総括組織「公共施設等総合管理委員会」を設置します。

委員会の機能

- ①各施設所管課全てを横断する位置づけの組織とし、公共施設等の情報収集や調整等を行います。
- ②公共施設等に関して財務部門と密接に連携します。
- ③公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画の進捗管理を行います。
- ④公共施設等総合管理計画について、住民と行政の相互理解や共通認識の形成に向けた環境整備を行います。



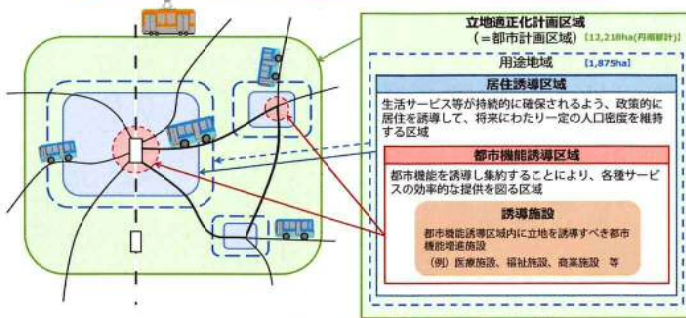
3) 立地適正化計画

1 立地適正化計画とは

■越前市都市計画マスタープランにおける将来都市像を基本としつつ、人口減少・少子高齢時代においても持続可能な、「コンパクトなまちづくり」に具体的に取り組んでいくための計画

【立地適正化計画に必ず定める事項】

- ・立地適正化計画の区域（＝都市計画区域）
- ・立地の適正化に関する基本方針
- ・居住誘導区域の設定と実現化方策
- ・都市機能誘導区域の設定と実現化方策
- ・誘導施設の整備事業等



立地適正化計画のイメージ

- 越前市では将来的な人口減少・少子高齢時代の到来が確実視されており、現在の市街地の規模のままで人口減少が続けば、今まで身近に利用できた医療・福祉・商業等の生活サービス機能や公共交通などの日常生活に必要な機能が低下し、現在の暮らしやすさが損なわれていくことが懸念されています。
- このため、立地適正化計画を策定し、居住や都市機能の適正な誘導により、コンパクトなまちづくりを進めることで、現在の暮らしやすさの維持を図ります。
- 越前市立地適正化計画は、概ね20年後（平成52年度）の人口、高齢化の状況等を展望して策定します。



ここがポイント

少子高齢化による将来を見据えた公共交通網の整備が必要です

2 越前市の都市構造上の課題

人口の将来見通し
都市活力を維持するため、都市機能の計画的な誘導、市街地と周辺部のネットワークの強化が必要
公共交通の利便性、持続可能性
過度な自動車への依存から脱却し、公共交通を中心とする交通体系への転換が必要
生活サービス施設の利便性、持続可能性
生活サービス施設周辺への居住の誘導や施設更新に併せた集約化が必要
高齢者の福祉、健康
高齢者の居住誘導による外出機会の確保、健康増進支援が必要
災害等に対する安全性
災害危険区域への居住誘導は居住者の安全確保を優先した慎重な検討が必要
財政の健全性
コンパクトなまちづくりによる行政コストの低減が必要



ここがポイント

居住を「まちなか」へ誘導しコンパクトな「まちづくり」を進める必要があります

3 立地適正化計画のまちづくりの方針

(1) まちづくりの基本目標、方針

まちづくりの基本目標

持続可能なネットワーク型コンパクトシティ

本市は、千数百年もの長い年月をかけて育み、継承されてきた地域固有の歴史や文化と、豊かな自然環境を背景として、丹南地域における中心都市として発展してきました。

しかし、モータリゼーションの進展に伴い工場や店舗、宅地は郊外部へと拡散し、生活や就業の場の広域化、郊外化が進んだ都市構造となり、中心市街地や農村部などでは、これまで築いてきた地域コミュニティの維持が課題となっています。

今後、更なる人口減少・少子高齢時代の進展が見込まれる中、これまでのような拡散型の都市構造では都市の持続性に大きな負荷を与えることが確実視されています。

このため、越前市都市計画マスタープランでは、土地利用や都市機能の配置等に関する適正な規制・誘導を行い、既存のストックを最大限に活用したコンパクトなまちを目指して、「持続可能な定住都市の形成」を基本理念として設定しています。

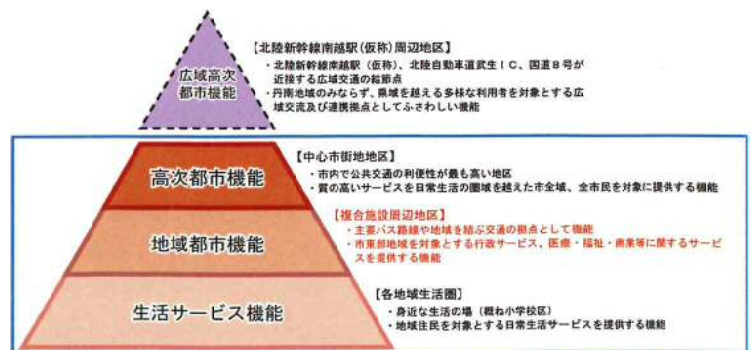
越前市立地適正化計画では、都市計画マスタープランの基本理念を踏まえて、「まちの顔」となる中心市街地を中心として、市民生活を豊かにする高次都市機能や地域都市機能の充実、公共交通を中心とするネットワークの構築により、まちなか、その周辺部および農山村部がネットワーク化された、コンパクトで持続的に発展するまち、「持続可能なネットワーク型コンパクトシティ」の実現を目指します。

まちづくりの方針

- 多様かつ高次の都市機能を提供する拠点の形成
- 生活の利便性を高める持続可能な公共交通ネットワークの維持、サービス水準の向上
- 将来人口に見合った市街地規模の実現、市民による居住地選択の誘導
- 現在の居住地での暮らしやすさの維持

(2) 越前市に求められる都市機能と立地適正化計画の対象

- 都市計画マスタープランでは、本市に求められる都市機能として、下図に示す4種類を位置付けています。
- 立地適正化計画は、居住や都市機能の適正な誘導によりコンパクトなまちづくりを進めることを目的とする計画であることから、「高次都市機能」、「地域都市機能」、「生活サービス機能」を対象に検討を行います。
- なお、「広域高次都市機能」の提供の場となる北陸新幹線南越駅（仮称）周辺地区は、その活力を誘引し、まちの活性化を図るとともに、都市機能の維持、まちなか居住の促進につなげるため、「広域交通拠点（広域交流起点）」として位置付けを行います。住居系の土地利用の想定をしていないことから、立地適正化計画の居住誘導区域や都市機能誘導区域の検討を行う対象区域には含まれません。



立地適正化計画の誘導区域検討の対象となる機能

本市における都市機能



人口問題・定住促進 対策について

【質問】国の地域経済分析システムを活用した各地区の特色を生かした住民参加型の定住化を図るべきと考えますが？

【答弁】住民参加型の定住化については、市総合戦略において、住んでいる人にも来訪者にも魅力あるまちになるには、各地区の特色を生かした地域住民による活性化が欠かせないものとしており、自治振興会等の活動を支援し、活力ある地域づくりにつなげてまいります。



魅力ある都市基盤整備について

【質問】「若い世代のまちなか定住」についての考え方は？

【答弁】11月29日に内閣総理大臣の認定を受けた、第3期中心市街地活性化基本計画では、「若い世代の定住を促進する総合的な『まちなか居住』の推進」を基本方針として位置付けて、まちなか居住を推進してまいります。

【質問】半世紀に一度のまちづくりを進めるために財政負担の軽減・平準化、中長期的な財政計画が必要であるが、今後どのように対応するのか？

【答弁】着実に事業を推進するため、平成32年度までに想定される大規模事業に要する一般財源について、財政調整基金や庁舎建設基金、昨年度末に設置した社会基盤整備基金などの各種基金を計画的に積み立て、有効に活用してまいります。

活力ある産業経済の振興について

【質問】若者の流出を防ぐ観点から、企業立地促進補助制度を一層充実させ、安定した雇用と定住化を図るべきと考えますが？

【答弁】市では、企業の設備投資や雇用の確保等を支援することで生産年齢人口を確保し、市内への定住に繋げていくことが重要と考えており、企業との連携を一層強化し、雇用の安定及び定住化の促進を図ってまいります。

【質問】広域農道の渋滞対策について、具体的に考えている対策は？

【答弁】丹南広域農道の渋滞対策については、越前市と鯖江市・福井市を結ぶ本路線は、県内でも有数の主要企業が沿線に立地する、極めて重要な産業基幹道路であることから、産業振興や雇用の確保、定住化の促進など、地方創生に大きく寄与する丹南広域農道を県の道路ネットワークに位置付け、県道として機能強化を図るよう、引き続き県に対して強く要請してまいります。

【質問】南越駅周辺について、旺盛な民間資本を誘導することが必要と考えますか？

【答弁】土地利用については、北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画に記載したとおり、民間活力の気運や熟度の高まりを見定め、本年度に改定予定の都市計画マスタープランと整合を図り

ながら、進出施設に必要な用途や規模に応じた規制・誘導の手法を適用して、民間活力の誘導を図ってまいります。

半世紀先を見据えた 広域行政の在り方

【質問】発展的な広域行政の在り方を調査・研究し、関係自治体に働きかけることを提案するが、市の考え方は？

【答弁】新たな視点の広域行政については、精査しながら、市が固有に独自性を持つて行っていく部分と、連携を図ることでより効果が発揮される部分、それぞれを十分見極め、一つひとつの案件ごとに一番効果的な方法を考え、広域行政を進めてまいります。

安心して学べる教育環境について

【質問】いじめの早期解決のために「スクールカウンセラー」の増員や配置の充実、チーム対応による早期の取組みが必要であるが、

市の取組みは？

【答弁】いじめの早期解決のための取組みについては、学校では、学校いじめ防止基本方針を作成し、いじめにも起こり得る「問題であることを十分認識し、「未然防止・早期発見・適切な初期対応」の観点から指導を行っております。また、各学校の「いじめ対策委員会」や「いじめ対策サポーター班」が、学校内はもとより、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関との連携を図りながら、対応してまいります。

【質問】小学校普通教室のエアコンの早急な設置が必要と考えるが、今後の考えは？

【答弁】市の教育施設全体についての重要度、緊急度、財政状況等を総合的に勘案し、まずは教育施設全体の中で優先順位を決め、計画的に取り組んでまいりますと考えております。



ごあいさつ

日ごろ皆様には大変なご支援、ご支持を賜り、厚くお礼申し上げます。本年も日本の政治や世界の動向がどう変化していくかを注視しつつ、地方議員の立場から、地域社会の将来ビジョンを描く中で、市民一人ひとりが感じる「幸福度」の向上を追及していく思いを強くしています。

地域でのお困りごと、行政への要望等どんなことでも結構です。皆様のお声をお聞かせください。



越前市議会議員 吉田けいぞう